

令和5年度 麻生区 結核通信

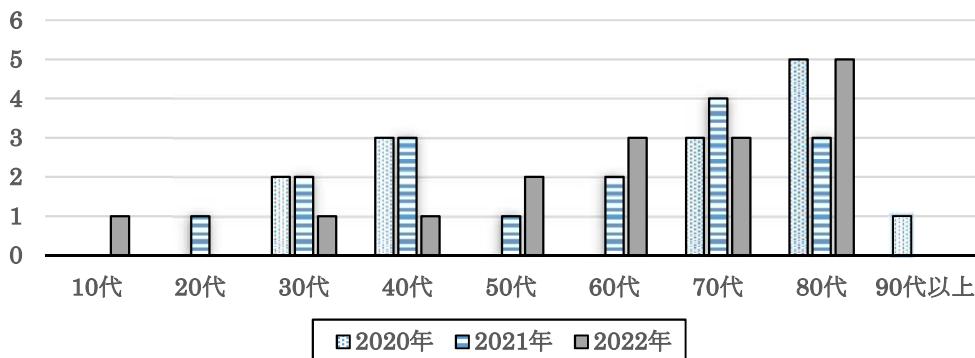
発行(R5年10月)
川崎市保健所
麻生支所 衛生課
044(965)5163

日ごろから、結核対策の推進に御協力・御理解いただき、誠にありがとうございます。結核対策の一層の強化のため、麻生区管内の結核の状況についてお知らせいたします。身近な人を結核から守るために御活用ください。

麻生区患者の約半数は70代以上。



R2~4年 結核新規患者年代別人数
(潜在性結核感染症を除く)



麻生区では 毎年 70代以上の 結核発症者が多く報告されています

日本全国でも新登録結核患者のうち65%を70歳以上が占め、特に全結核患者のうち40%以上が80歳以上の患者です。

なぜ？

(結核統計2022)

戦後しばらくまでの流行期に感染した方が、これまでは発病せず、加齢や持病などで免疫力が低下しがちな高齢期になって発病しているためだと考えられます。また、結核の主な症状は風邪などに似た呼吸器症状ですが、高齢者では症状がはっきり現れない場合も多く、発見が遅れがちです。

関係機関の皆様へ

結核対策に特別なことは必要ありません

1 毎年の定期健診 【胸部エックス線検査】が大切

早期発見・早期治療は症状が軽く済み、他の方への感染を防ぎます。

2 日常の健康チェック・ 有症状時の早期受診

結核の早期発見のためには、呼吸器症状(咳、痰・血痰、胸痛)のみならず継続する体調不良や免疫の低下に絡む症状など日常の健康観察がとても大切です。発熱(微熱の継続)、食欲不振(食事量)、体重減少、倦怠感 など回復と悪化を繰り返す時も注意しましょう。

20代~40代の方も

健診が大切！要精査になれば必ず早期受診を



20~40代の患者(14名・2020~2022年通算)
3名が健診、10名が受診で診断されています！
要精密検査になっても、症状が悪化しても、多忙により受診をしないことで、重症化してから医療につながる場合もあります。
自分自身と周りの大切な人を守るため、年に1度は胸部エックス線検査を受けましょう。

衛生課では、治療の公費負担申請手続きや、看護職が服薬支援などの療養支援を行っています。結核についての御相談は衛生課まで。



川崎市からのお知らせや申請書類などはこちら

